

情報集合としての人を表す CG エージェントの相互作用によるメディア・アート "Dancing Information" の開発 —自己の再発見、つながりの中での興味の拡張—

1. 背景

インターネットが普及し、今まで知ることのなかった情報を手に入れる機会が増えました。情報が自由に流通する仕組みは歓迎されていますが、一方で、情報を追い求めるあまり、自らの興味が忘れ、ニュースを追い、ブログを追い、SNS の友人のアップデートを追い、大量の情報に戸惑いを隠せないというのも真実ではないでしょうか。さらに、小さい単位の情報でも気軽に発信できる Twitter などのサービスも普及し、情報の断片化に拍車がかかっています。とすると大量の断片的な情報に疲弊し、知的に豊かな生活から遠ざかってしまいかねません。

このような状況において、知的に豊かに生きるための「考えるきっかけ」の所在を問いかけた、本プロジェクトの着想に至りました。

2. 目的

忙しく現代に生きる私たちが、情報に翻弄されることなく、知的に豊かに生きる鍵は、「自己の再発見」と「つながりのある他者を通じた興味の拡張」にあるのではないのでしょうか。本プロジェクトの目的は、アートと情報学を橋渡しし、この二点を表現し、訪問者に「考えるきっかけ」を提供することにあります。

3. 開発の内容

アートスペースに展示するメディア・アートを志向し、システムを開発しました。システムは、訪問者が入力した Twitter の ID に対応するウェブサイトから画像を収集し、立体的な人型にコラージュします。時に、訪問者が Twitter 上でフォローしているユーザーのコラージュも同様に生成します。システムは生成したコラージュを踊らせ、その構成要素の画像を随時変化させます。画像は、元のウェブページでの周辺テキストのキーワードを元選ばれます。本システムは、外部サービスからデータを集めるクロウラ、収集したデータを表示プログラムに提供する API、訪問者に見せる映像を生成する表示プログラムの三つの部分から成り立っています。図 1 にシステムの概要を示します。

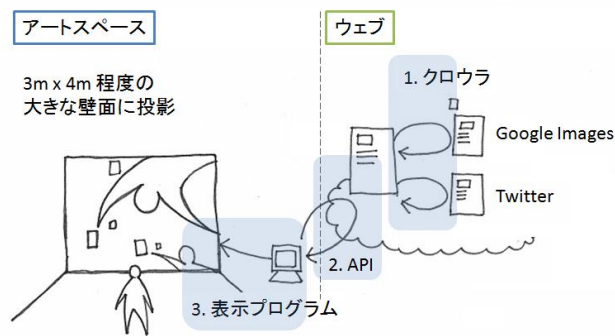


図 1 システムの概要

人型のコラージュの土台は、質量や体積といった物理的な特徴を持つプリミティブジョイントでつながり合わせ、構成してあります。これ合わせて、人体をかたどるようにイメージを配置します。体の部位に力を加えることで、基本的な立ち姿勢、踊りの体勢変化を実現しています。踊り手が複数(本システムでは2人まで)になる場合は体の部位同士をジョイントでつなぎ、力を加えます。

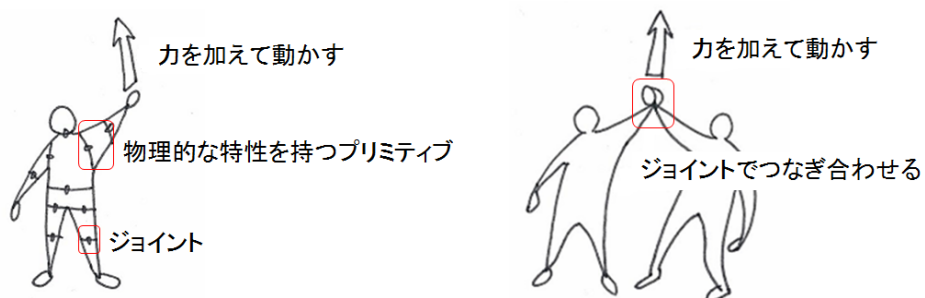


図 2 人型のコラージュのベースと踊りの仕組み

本システムが投影する映像を図 3 に示します。

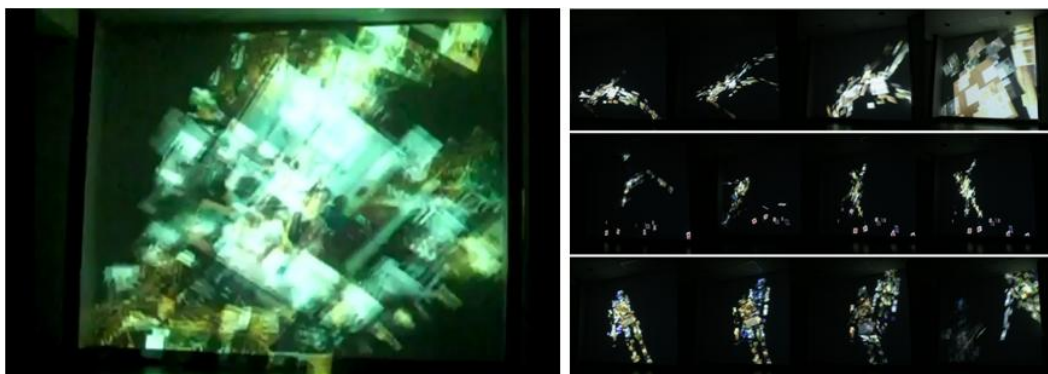


図 3 本システムが投影する映像

4. 従来の技術(または機能)との相違

アートスペースや公共の場で、情報を投影する取り組みは、アート分野、情報学分野双方において、先行事例が存在します。ただし、訪問者を、その人が持つ情報も含めて取り込み、「考えるきっかけ」を提供するシステムや作品は稀で、アートと情報学が完全に橋渡しされているとは言えません。

本プロジェクトで開発したシステムは、訪問者が持つ情報を素材として、人型の立体的なコラージュを構成し、さらに動きを持たせることで、訪問者を作品に取り込むものです。自己の興味を再発見し、他者とのつながりの中から興味を広げ、「考えるきっかけ」を作り出すものとして、アートと情報学を橋渡しする新しい取り組みと言えます。

5. 期待される効果

本システムの訪問者が自身の興味を再発見し、他者とのつながりの中から興味を広げ、考えるきっかけを得ることを期待しています。また、より大きな視点では、情報学とアートが融合する新領域を切り開くきっかけとなることを期待しています。

6. 普及(または活用)の見通し

1979 年からオーストリアのリンツで開催されている世界最大のメディアアートフェスティバル ARS Electronica に本プロジェクトで開発したシステムを出展します。その他のアートフェスティバルやアートスペースへの展示も積極的に行います。また、アートと情報学を橋渡しする試みとして、展示時の訪問者の反応事例を論文にまとめ、ナレッジマネジメントやイメージングに関する国際会議への学術的な成果報告も行う予定です。

7. クリエータ名(所属)

チーフクリエイター:

日野 亜希子 (京都大学大学院 情報学研究科)

コクリエイター:

日野 洋一郎 (学校ネット株式会社)

大槻 憲弘 (フリーランス)

(参考)関連URL

- Dancing Information プロジェクトのページ
<http://akinote.com/di/>
- ARS Electronica 2010 の紹介ページ
<http://new.aec.at/repair/en/2010/07/16/akiko-hino-dancing-information/>